



あしたのために

令和6年10月24日
東京都立立川学園校長
市川 裕二

高等部職場実習紹介（聴覚障害教育部門）

10月から、高等部普通科2年生と専攻科1年生の職場実習が始まっています。今月号と来月号で、どんな職の会社で実習を行ったか、どんな目標をもって実習に取り組んでいたかなど、紹介していきたいと思ます。ぜひ読んでいただき、今後の進路に役立ててほしいと思ます。

実習先職種	事務（銀行関係）
実習での目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 専攻科にふさわしい言葉遣いや行動をする。 2 職場のルールや雰囲気把握する。 3 分からないときは質問をしてメモをとり、きちんと理解する。
実習内容	<ul style="list-style-type: none"> ・エントレックス業務 ・エントレックス入力練習 ・文書の電子化関連業務 ・文書の電子化登録入力練習 ・文書の電子化受付作業 ・DC入力練習 ・一時金入力練習
実習で良かった点	<ul style="list-style-type: none"> ・分からないときはすぐに聞いたり、職場の人とコミュニケーションを積極的にとったりしたところ。 ・挨拶や礼儀がよかった。 ・エクセル試験がよくできていた。 ・説明されたことをきちんと理解して、一人で作業を進めてミス0の時間があつた。
実習での課題	<ul style="list-style-type: none"> ・お礼や挨拶は顔を見て笑顔ですること。 ・市区町村の地名（支店名）を読めるようになること。 ・メモを取りたいと思ったとき、自分から聞いてメモを取ることをする。
実習での目標達成度	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的によくできていたと思う。 ・専攻科にふさわしい言葉遣いや行動をすることができた。 ・職場の雰囲気を把握して、コミュニケーションを取ることができた。 ・分からないときはすぐ質問をして、メモを取り理解することができた。（メモを取るタイミングが分からず取れないときが少しあつた）
今後の学校生活で頑張ること	<ul style="list-style-type: none"> ・メモをとるタイミングを理解する。 ・教えていただいたときに笑顔でお礼を言うこと。

今回は1名の実習を紹介しました。目標を3つ書いていますが、すべてがコミュニケーションにつながっていきます。仕事では「報連相」が基本になります。これもコミュニケーションを取れないとできないことです。「分からない時には相談して進める」、「仕事が終わったら報告する」、「予定が変更になった時などは連絡する」ことなどができるようにしていきましょう。

企業が求めている力の1位と2位を占めるのは、「コミュニケーション能力」と「協調性」です。会社に入ると、同期の社員、上司や先輩、取引先など、いろいろな人と関係を作らなければいけません。一緒に働く仲間なのに、周りに溶け込まず、自分勝手な行動をする人がいると、会社の雰囲気も悪くなってしまいます。

成績が優秀でも、会社はそんな人は採用したいと思いません。会社は1つのチームです。チームである以上、何よりもチームワークが大切になります。そのためには、「コミュニケーション能力」「協調性」が採用において重要になってきます。学校生活でも意識してほしいです。

中学部1・2年生の高等部見学（知的障害教育部門）

9月9日（月）、12日（木）に、聴覚障害教育部門高等部の作業学習を見学しました。事前学習では、「中学部を卒業した自分」について考え、「高等部の『作業学習』を知る」と「高校生になった自分をイメージすること」を目標に見学日を迎えました。

高等部には、作物を育てる「農園芸」、専用の道具、手順書を使って掃除に取り組む「清掃」、立川祭でも販売されるクッキーなどを作る「食品」、革製品を作る「ものづくり／クラフト」の作業班があります。2年生が「農園芸」と「清掃」、1年生が「食品」と「ものづくり／クラフト」の作業学習を見学したり体験したりしました。

仕事内容への興味もさることながら、高等部の先輩たちがしっかり身支度を整え、ピシッとした態度で指示を聞き、テキパキと動いている様子に、目を見張っている中学生の姿がありました。

「農園芸」
草むしり、室内作業を体験し、袋製作の見学をしました。

「清掃」
ウィンドスクイージーを使った窓清掃や、タオル絞り・机拭きを体験しました。

「食品」
クッキー生地づくりの見学をしたり、粉ふるい、ラップ切りを体験したりしました。

「ものづくり／クラフト」
革製品づくりの刻印、穴あけを体験しました。

事後学習では、見学・体験させていただいた作業を振り返り、先輩方の姿を思い出して、「製品を作るのだから身だしなみよく清潔であること」や「挨拶・返事」が大事だということを再確認しました。今後の進路学習や、中学部での作業学習にも生かしていけるとよいです。